

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020 年 10 月 20 日作成 1.0 版

研究課題名	早期肝細胞癌の診断における腫瘍マーカーの有用性に関する研究
研究の対象	2008 年 4 月 1 日以降に診断された原発性肝細胞癌の症例
研究目的 ・方法	日常臨床においては早期小肝細胞癌のスクリーニングとして、腫瘍マーカーがどの程度に有効であるかを検討することは大変意義のあることと考えられます。そして小肝癌の拾い上げに有効であること確認されれば、より適切な治療選択を行うことができる可能性が広がり、肝癌診療の進歩に貢献することに繋がると考えられます。
研究期間	西暦 2020 年 11 月 24 日 ~ 西暦 2024 年 2 月 14 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	情報：診断名、病歴、治療の内容、腫瘍マーカーの推移、治療効果、副作用等の発生状況、検査データ、生存期間などを診療録から収集します。
外部への 試料・情報の 提供	診療録から収集した情報を各研究参加機関において匿名化し、データベースにパスワードをかけて CD-R を横浜市立市民病院へ郵送で提供されます。本研究に関する文書および記録は横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター医局にて、本研究にかかわる研究者が保管・管理を行います。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	該当しません
研究組織	研究代表者：多羅尾和郎（医療法人社団 たらお内科・消化器科 理事長・院長） 野崎 昭人（横浜市立市民総合医療センター 輸血部准教授） 佐藤 昭（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器内科客員教授） 池田 隆明（横須賀市立うわまち病院 消化器内科部長） 小松 達司（国立病院機構横浜医療センター 消化器内科部長） 小松 弘一（横浜市立市民病院 副病院長） 田中 克明（秦野赤十字病院 病院長）

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター（研究責任者）野崎 昭人

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5348

研究代表者：多羅尾和郎（医療法人社団 たらお内科・消化器科 理事長・院長）